

## 消火や避難 横浜で訓練

長野県軽井沢町のバス転落事故から1カ月となった15日、横浜市中区の貸し切りバス会社「シティアクセス」本社営業所で、車両火災に備えた訓練が行われた。社員や消防員ら約90人が参加し、初期消火や避難誘導に向けた連携方法を確認した。

軽井沢での事故をはじめ、昨年末に都内や長崎県で観光バスが炎上する事故が相次いだことを踏まえ、同社と市消防局が初めて実施。市内の旅行代理店の社員らも参加した。

訓練は、乗客28人が乗った大型バスの後部から出火した1との想定で実施。乗客役の社員らに乗務員が落

乗客の救出とバスへの放水を訓練する消防員  
— 横浜市中区新山下



ち着いて避難するよう呼び掛け、初期消火に当たった。消防員は、逃げ遅れた乗

客をバス後部の非常口から担架で搬送、バスに向けて放水した。

訓練を終え、中消防署の西徹予防課長は「どんな場所でも迅速な避難誘導と初期消火が大切なので、事業者には今後も訓練を重ねてほしい」と呼び掛けた。

(井口 孝夫)